



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 動き出した国道改良……………2・3
- 秋の火災予防運動特集……………4・5
- カメラルポ〈訪問声かけ給食サービス始まる〉……………8・9
- まちの話題……………10・11



学校田の米で「もちつき大会」

—高瀬小—東光苑にもおすそ分け

高瀬小学校で10月26日、学校田でとれた米でもちつき大会をしました。PTAが準備した13個の臼で一斉につき始められた75kgのもち米は、10分程で約400人分の軟かいもちに変身、あずきもちや汁もちとなって子どもや父兄らのおなかに入りました。また、この日PTAが「おはぎ」もこしらえ、東光苑におすそ分け、入居者たちは思わぬごちそうに舌つづみを打っていました。

広報

11月

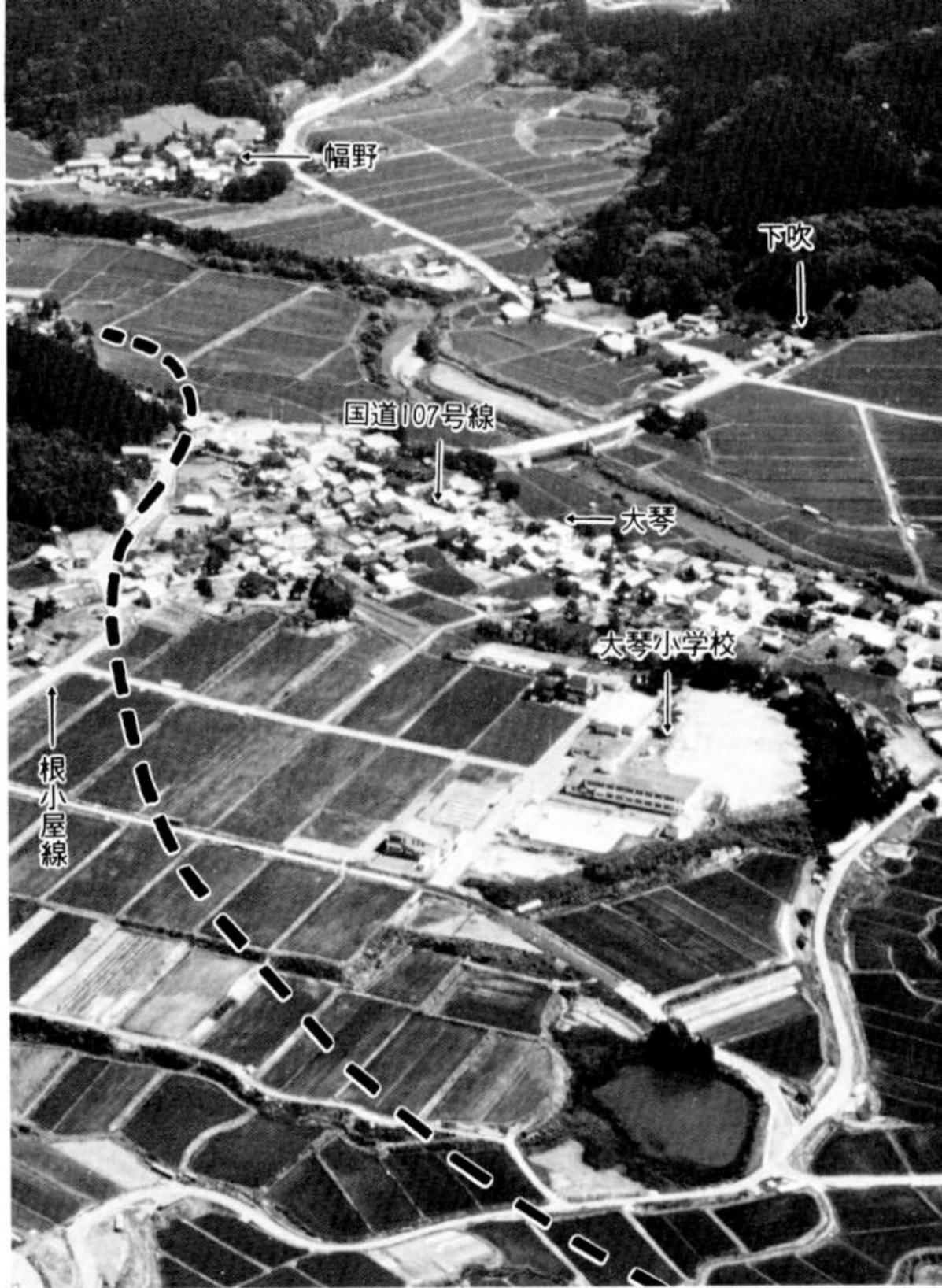
いがしゆり

No. 380

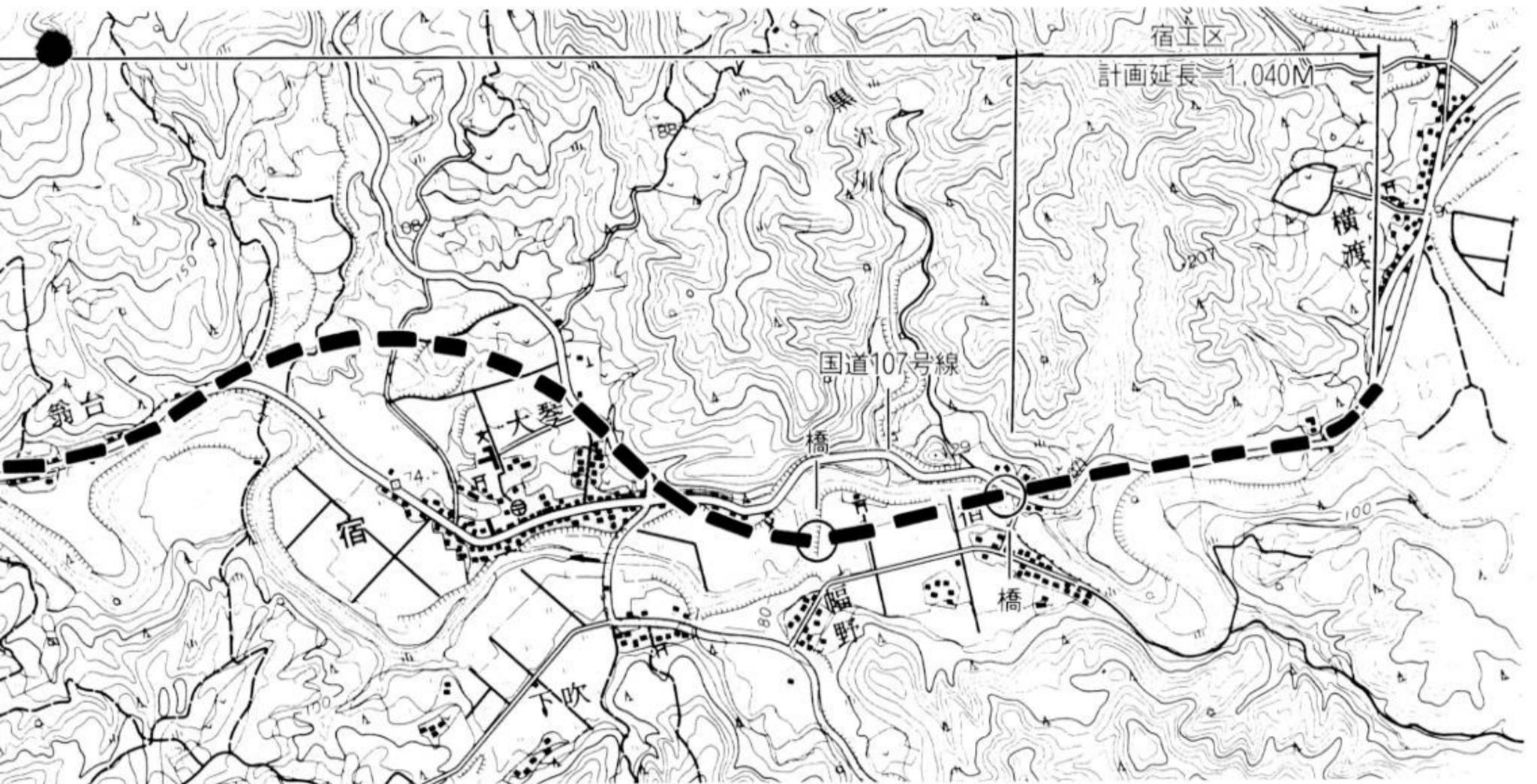
題字 / 佐々木青洋氏 (東由利町出身)

動き出した国道改良

基本 ルート 決まる 宿—奥ヶ沢間



基本ルートは、冬期交通や交通安全を配慮したことなどから、ほとんどがバイパス化した。(写真は奥大琴地内・点線は基本ルート)



本町の大動脈国道107号線宿一奥ヶ沢間(約7km)の改良が、いよいよ始められることになりました。

国道107号線の改良は、これまで板戸工区、館合バイパス、老方バイパス、蔵工区と、順次に進められてきたものの、未改良部分も多く、町では国・県に対して早期改良整備を強く要望してきました。この結果、昨年

バイパス化で冬も安全

トンネル2つ、橋7つを新設

すでに横渡一宿間(宿工区)の着工が決定したのに次いで、このほど、難所として残されていた宿一奥ヶ沢間の改良工事に着手することが決まったものです。県では10月7日に高瀬館で説明会を開き、基本ルート(下図)を公表、来年度から国の予算が計上されることを明らかにするとともに、地権者に対して協力を要請しました。

宿一奥ヶ沢間で最っとも狭い奥ヶ沢地内。写真左川向うから780mは、トンネルが掘られる。



基本ルートは、宿一奥ヶ沢間の高瀬川を縫うように設定され、延長は6、150m。この間、橋が7か所に、180mと780mのトンネルが2か所に新設されます。また、現存の道路の幅が困



基本ルートを公表する説明会(10/7)には地元住民ら50人余りが出席、広げられた図面に見入った。

難なこと、冬期交通や交通安全対策を配慮したことなどにより、ほとんどがバイパス化し、全線に2・5mの歩道が設けられます。同線の改良は、62年度に用地測量、63年度に用地買収が行われ、64年度から本格的な工事が始められる予定です。県では、事業費に60億円を試算、これまでの国の予算配分から換算して、完成を昭和72年ごろとみています。

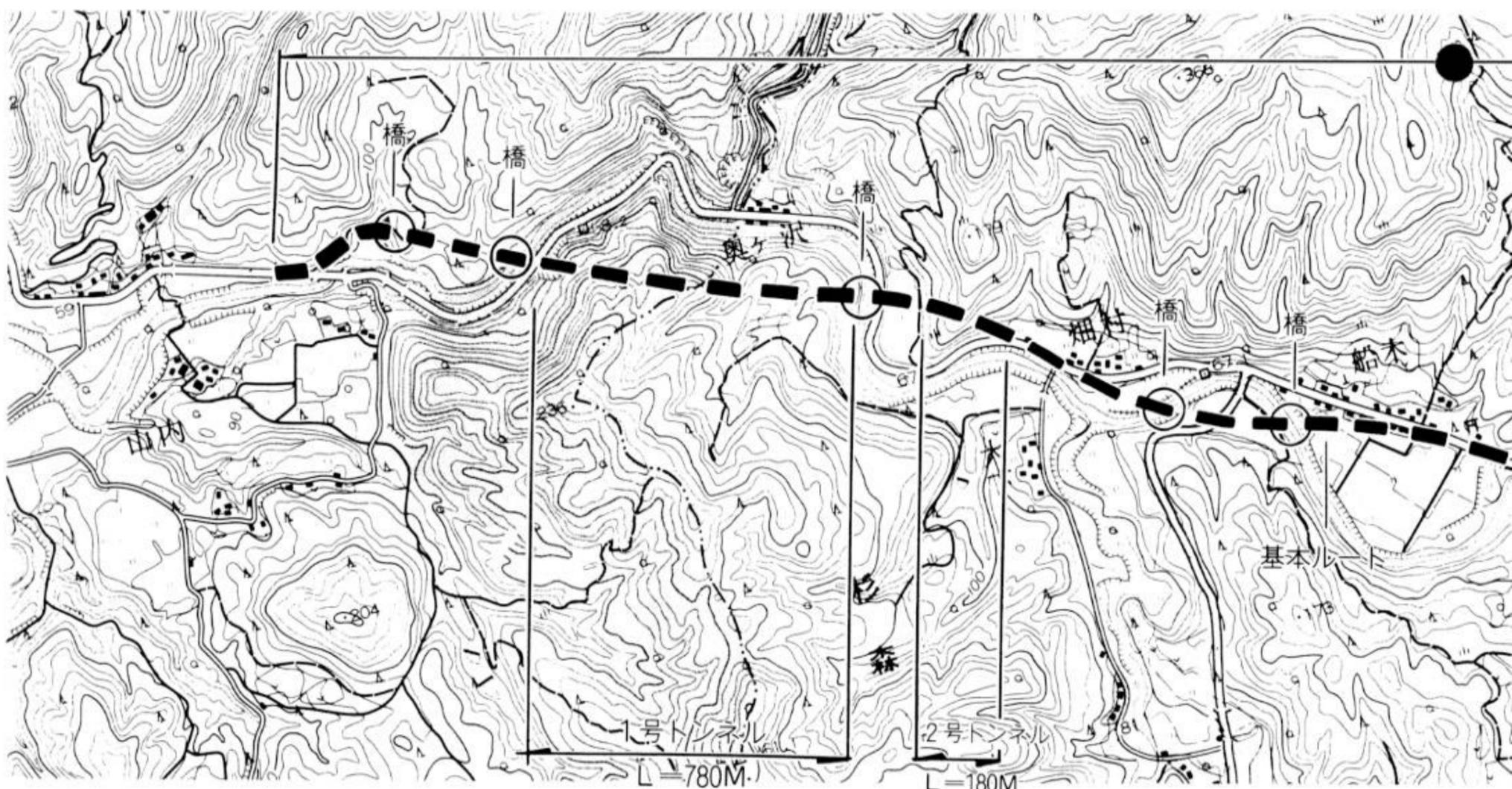
立った道路の確保という観点から、農地等の犠牲はやむをえない一面もあります。

県では、地権者の協力が円滑に得られれば、早期着工もありうるとしており、今後、用地測量、用地買収にあたって、地権者のみなさんの理解と協力をお願いします。

早期着工には地権者の協力が

町では、基本ルートの設定にあたって、農地への影響を極力避けるよう県へ要望してきましたが、土地や地形、経済効果などの検討結果から、最終的にはほとんどがバイパス化され、そのために潰れる農地も少なくありません。しかし、国道107号線は、

対策などが十分配慮されたものでなければならず、将来展望に



秋の火災予防運動 (11/2~11/8) 特集



本荘地区組合消防署

大場東由利分署長に聞く

● インタビュアー

くわこ
佐々木桑子さん
(大琴)

火事を起こさぬものも 家事のうち

今年、本町で6件の火災が発生しています。原因は、給湯器の故障、石油ふろがまの油もれ、天ぷら油の過熱発火、たき火など、いずれも個人の不注意によるものでした。

これから約半年間は、暖房器具をフル運転することから、火災には厳重な注意が必要です。そこで、本荘地区組合消防署東由利分署の大場孝一分署長に「火災予防のポイント」を聞いてみました。

インタビュアーは、大琴の佐々木桑子さんにお願いしました。

家事の一環として火事を出さないよう気をつけて…と話す大場分署長

古い器具は 分解掃除を

佐々木 不注意による火災が多いようですけど、具体的にはどのような状況なんですか。

大場分署長 今年町内で起きた火災のうち、2件はふだん使っている器具の点検をしなかったことよって起きたものです。また、たき火の不始末によるものが2件で、これは組合管内の火災原因のトップになっています。

佐々木 家庭で使っている器具というのは、身の周りにたく

さんありますけど、点検のポイントは。

大場分署長 まず、古いものから順番にチェックすることです。特に、石油燃焼機器などは年数が経つと燃焼筒にススがたまって不完全燃焼を起こしたり、配線のネジがゆるんでいる場合が多いので、年に一度は石油燃焼機器の技術熟練者に見てもらい、分解掃除をすることが必要です。また、コンセントから出火した例もありますので、差しっぱなしのコンセントを含めて、定期的に点検することが大切です。

天ぷら鍋発火

あわてずに

佐々木 天ぷらなべによる火災があったようですけど…。

大場分署長 町内で1件、組合管内だと7件ありました。火災にならなくても、危うく難をのがれたという例はけっこう多いと考えられます。

本荘地区組合消防署管内での出火原因 (61年1/1~10/20)

1位	たき火	11件
2位	ストーブ	9件
3位	コンロ	(天ぷら鍋含む) 7件
4位	タバコ	5件
5位	かまど	4件
	その他	17件

「いちばんは119番です」

消防署からひと言

みなさんは「119番」をかけたことがありますか。もちろん緊急の場合ですが…。実は、火災や救急のとき、落ち着いて話すことはなかなか難しいものなのです。

1分1秒を争う火災や救急ですから、早く消防車や救急車が出動しなければいけないはずなのに、通報者があわて過ぎて場所がわからなくて出動できないということがよくあります。

そこで「コツ」は、あわてて話さないことです。「火災ですか、救急ですか」というように消防署の方で質問してきますので、質問に落ち着いて答えることが、一番正確で時間もかかりません。

なお、火災の場所を知りたい場合は、☎23・1919に

佐々木 どんなことに気をつけたらよいのでしょうか。

大場分署長 天ぷらなべによる火災は、電話の呼び出しなどで、火をつけたままその場を離れたときに起きています。火は必ず止めてから離れるという、ふだんからの心構えが大切です。また、そばにいて油に火がついたときでもあわてないことです。消火器で消すか、ぬれシーツをかぶせてください。水をかけると火が飛び散るので絶対にいけません。

言うまでもなく、周りに燃えやすいものは絶対に置かないことです。

灰皿が割れて 火災の例も

佐々木 これらのほか、火災の原因で多いのは何ですか。

大場分署長 組合管内では、ストーブとタバコの火の不始末

ですが、タバコの火の不始末による火災では意外な例があります。それは、ガラスの灰皿にたまった吸がらに、消し忘れのタバコの火がついて、熱で灰皿が割れて火事になったもので、ガラスの灰皿を使う場合は十分気をつけなければならぬことがわかっていきます。

佐々木 寝たばこをする人は特に気をつけなければいけないわけですね。

大場分署長 いや、寝たばこは絶対しないでください。寝たばこも、火災の大きな原因です。

わが家の火災予防

ガスの元栓、ストーブの完全消火に 家族みんなで気をつけています

日常生活に欠かすことのできない「火」。考えてみると、毎日台所に立っている私たち主婦が一番多く火を使っているわけです。



遠藤正子さん (家の下)

など、私だけでなく家族みんなで気をつけています。とにかく家族一人ひとりが気をつけなくては自分の家を守ることはできませんから…。

火を使うことの多いこれからの時期、今まで以上に家族みんなです。二、三度あります。幸い大事に

対流熱が危険 ストーブ乾燥

佐々木 これからの時期は、ストーブに頼る毎日となりますが、ストーブで一番気をつけなければいけないことは…。

大場分署長 各戸を巡回してみますと、ストーブの上や周りに、無雑作に洗たく物を干して



火災予防のポイントを聞く
佐々木さん

いる家庭がみうけられます。こうした状態では、火災の危険を背負って生活しているようなものです。

洗たく物は、乾いてくるとストーブの対流熱で動きます。特に、軽い洗たく物などは、そうした動きでエントツやストーブに触れたり、また落ちたりして火災を引き起こすのです。

それから、エントツによる過熱もたいへん危険です。必ずメガネ石を取り付けてください。

佐々木 いろいろ伺いましたけれども、私たち主婦が注意しなければならぬことがたくさんありますね。

大場分署長 そうなんです。これからは特に、出稼ぎなどで手が不足します。主婦のみならずには、家事の一環として火事を出さないよう気をつけてもらいたいと思います。

消火器を使わなくてすむよう 小さな気配りを していきたい



島山みな子さん (島)

わが家では、台所に小型の消火器と、消火用の布を備え、いざという時とりやすい場所を選んで置いていきます。

かけてください。119番は緊急用ですので使わないでください。

秋の火災予防運動にご協力ください

町消防団では、秋の火災予防期間中に、早期かけつけ訓練や火の元検査を行います。みなさんのご協力をお願いします。

早朝かけつけ訓練 — 2日
パレード — 2日
消防施設点検整備 — 2日
火の元検査(分団ごと) — 2日
火災予防巡回(各分団ごと) — 2日
に、消防自動車で夜巡回)

打鐘及びサイレン吹鳴(町内5か所) — 2日~8日

悪質な消火器の訪問販売に注意

消火器は、火災のときの初期消火に大きな効果を持つ消火用具です。法律上の設置義務はありませんが、万一のため家庭に一本は備えておきたいものです。

ところが、最近、消火器の訪問販売や、点検、つめ替えをめぐって販売業者と消費者とのトラブルが増えています。消火器販売に、疑問や不審を感じたら、東由利分署(☎69-2214)か、消防本部(☎22-0021) 予防課までお問い合わせください。

今年の町功労者

今年の町功労者に、前町商工会長佐藤要次氏、前町老……人クラブ連合会長梅津千代松氏、元町議会議員藤原虎之……助氏の3氏が決まりました。3氏は10月8日に行われた……選考委員会で選ばれたもので、表彰式は11月3日午前11……時30分から、有隣館で行われます。

佐藤、梅津、藤原の3氏に

11月3日有隣館で表彰式



藤原虎之助氏・78歳
老方字老方4の4



梅津千代松氏・84歳
宿字大琴53



佐藤 要次氏・75歳
老方字老方48

商業振興の
基盤確立に貢献

昭和42年に東由利村商工会長に就任以来14年間、同会組織の育成充実に意を注ぐとともに、商工会館の建設など商業振興の

基盤確立に大きく貢献をいたしました。

また、昭和39年には東由利村議会議員に就任、教育民生副委員長のほか、経営者協会副会長、本荘食品衛生協会東由利分所長等を務め、地方自治の発展と、地域振興に尽くしました。

老人福祉の向上と
民生安定に寄与

昭和22年に下郷村議会議員に就任以来9年余、地方自治の振興発展に貢献されたほか、昭和37年には地区老人クラブの結成

に尽力され、同46年村老人クラブ連合会長に就任、以来14年間組織の育成強化と、老人福祉の向上、民生安定に大きく寄与されました。

小規模校へき地教育の
伸張に尽力

昭和21年に教員になって以来20年余、戦後の学制改革の混乱期のなかで、本町ひとすじに小規模校へき地教育の伸張に尽くしました。



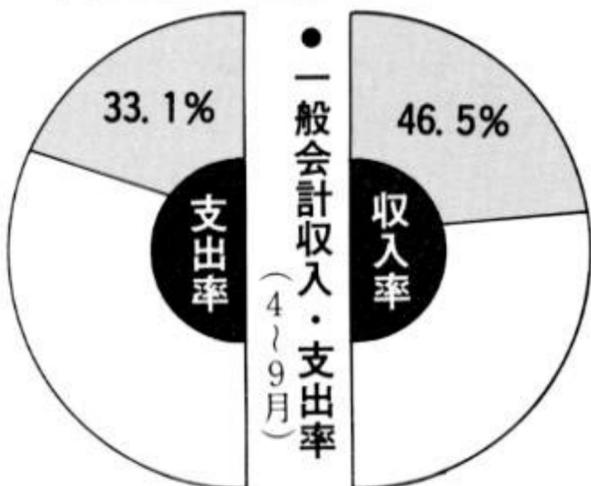
また、昭和43年には議会議員に就任、教育民生正副委員長、産業経済委員長等を歴任するなど、教育、産業経済の基盤整備に尽くしました。

まちの財政
一般会計(4~9月)
上半期財政報告

9月末現在の61年度一般会計予算総額は、24億4、867万1千円で、当初予算より15%多くなっています。これまでの補正は、テニスコート新設事業費、災害復旧事業費などが主なもので、道路改良等生活環境整備などを含めた投資的経費は全体の38・8%となっています。

これらの財源については、厳しい国の財政事業のなかにもありながらも、町の持ち出すお金の少ない国の補助金や起債などがあてられています。

町が借り入れしている町債については、現在、一般会計予算の総額とほぼ同じ額となっていますが、償還費の半分程度は国の財源で補てんされています。9月末現在の予算執行状況は、前年同期と比べてやや上回っています。



安心してできる出稼ぎを

求人=異変の今季出稼ぎ



安心してできる出稼ぎは職安を通して… (写真・本荘職業安定所)

今年も出稼ぎの季節がやってきましたが、今年の出稼ぎの求人状況にはちょっとした異変が起きています。それは、円高による影響で製造業の求人が前年よりおよそ50%減ったことで、特に自動車関係では皆無になっています。反面、建設業の求人は例年より増え、関東方面を主に全体で前年より22%多くなっています。

こうしたことから、建設業への就労者が多くなることが予想されますが、建設業は危険を伴う作業も多く、また、職業安定所を通さずに行った場合、賃金不払い事故の発生が懸念されます。安全で安心できる出稼ぎ就労をするためには、職業安定所を通し互助会に加入するなど、事前の準備を十分に——。そのための必要なことがらをまとめてみました。

就労は必らず職安を通してから

●職業安定所(以下職安)の紹介する事業所等であれば、明確な労働条件のもとで就労できるので、万が一賃金不払い事故が発生しても、職安が責任ある措置をとるため短期間で解決でき

ます。●口コミによる募集や、知人、縁故者の紹介によるものは中小企業が多く、労働条件もあいまいです。事業主の中には故意に賃金の支払いを延ばしたり、離職票の発行を渋ったりする人もいて、解決には相当の日数を要します。こうした事業所に就労する場合は、前もって事業所に対し、職安に求人票を出すよう申し入れることが必要です。

出稼手帳をもらい互助会に加入を

●町出稼相談所(町役場)で出稼手帳の交付を受けてください。この手帳は、事業所で労働条件の確認を受けるときや賃金

未払いの内容確認を受けるときなどに必要です。●手帳の「雇入れ通知書」によって雇用契約を行います。契約が済んだら内容を必ず確認し、出発前に聞いた条件と違うときは、職安や互助会に相談してください。●互助会に加入するとき「お届けハガキ」を渡しますので、就労先の住所等を書いて互助会に送ってください。出身町村に關係なく、同一事業所で働く2人以上の会員からハガキが届いた場合、「秋田魁新報」や「広報あきた」などが送られます。町の広報は、会員が1人でも、12月号から3月号まで送ります。

就労先では…

●仕事の内容や賃金の問題で事業所とのトラブルが起きたら、感情的になる前に、互助会または町の出稼相談所に相談してください。●中途退職または職場を変更した場合は、直ちに町の出稼相談所に相談してください。●飲酒によるさまざまなトラブルが毎年発生しています。酒は、飲み過ぎないようにし、飲んでも早目に切り上げ、体を休める時間を少しでも多くとってください。●何よりも健康が第一です。ちょっとしたでも体の具合がおかしいときは仕事を休み、医者にみてもらってください。自分はもちろん、家族が安心してできる出稼就労のために——。

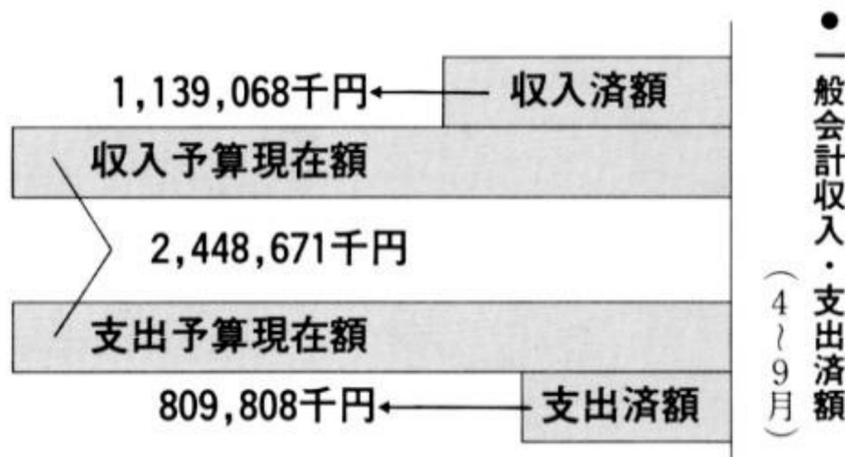
●町の財産

土地	11,662,834㎡
建物	27,918㎡
有価証券	313千円
自動車等	37台
基金	501,487千円

(うち財政調整基金 323,355千円)

●公債費(借入金)の現在高

2,434,324千円
(うち交付税措置分 1,241,505千円)



待ち遠しい



福祉の町づくりまた一歩進む

訪問 給食サービス始まる ひとり暮らしのお年寄りに月2回

郡内では初めての、ひとり暮らしのお年寄りを対象とした「訪問かけ給食サービス」事業が、9月3日からスタートしました。この事業は、ひとり暮らしのお年寄りに対する在宅福祉サービスの一環として、町社会福祉協議会（町社協）が町の委託を受けて行っているもので、現在、町内に住むひとり暮らしの老人で、

給食を希望した19人が、月2回の弁当を無料で受けています。弁当を作っているのは、町内の仕出し屋さん2軒で、第1と第3の水曜日を交替で担当しています。取材した日のメニューは、マグロのさしみ、さけの焼魚、焼肉、いちぢく、大根の煮物、きのこ蒸し、つけものと、バラエティーに富んでいました。

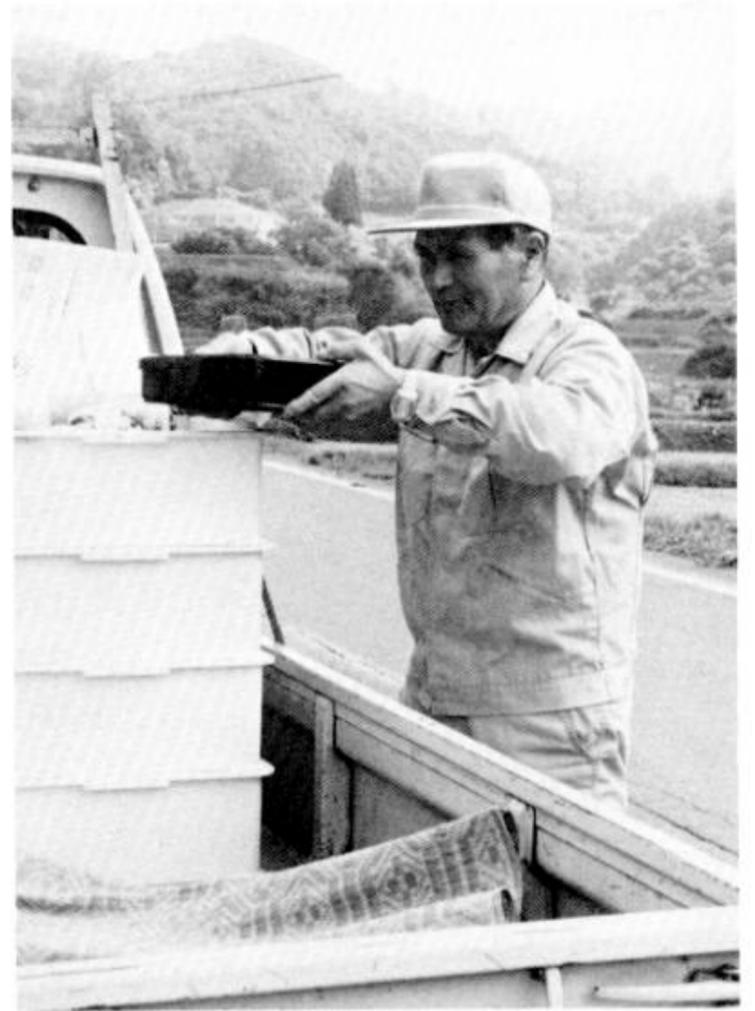


毎月第1と第3水曜日に配られる弁当



バラエティーに富んだ弁当

配達を受けもつ町社協臨時ヘルパーの畠山さん



給食が



「とてもおいしいです」と、味わって食べる大極さん

仕出し屋さん側では「軟かい材料と味付けに気をつけ、栄養バランスのとれたおいしい弁当を食べてもらいたい」と話していました。

また、仕出し屋さんの作った弁当を自宅まで届けてくれるのは、町社協臨時ヘルパーの畠山久一さん（寺田）で、午前11時過ぎに配達を開始、12時ごろまでには全員に配られます。

この事業のもう一つの大きな特徴は、弁当の容器回収を兼ねて町社協のホームヘルパーと職員らが手分けして訪問していることで、食中、または食後のヘルパーらの訪問で、日ごろ一人暮らしでさみしい生活を送っているお年寄りたちも心をなごませます。

「訪問声かけ給食サービス」を受けている大極ナツヨさん（新町）は、「給食がくるのが待ち遠しくて…。それに、ヘルパーさんたちの訪問にはとても心強く感じます」と、話していました。



訪問したホームヘルパーとの世間話にも花が咲きます



弁当は、町内2軒の仕出し屋さんが交替で調製

● 歳時記

落葉



垣根の垣根の曲がり角、たき火だたき火だ落葉たき、あたらうかあたらうよ、北風ピープー吹いている……落葉というと、幼い日に口ずさんだこんな歌を思いだす方もいると思います。もっと古いところでは、紅葉をたいて酒をあたためる、という風習もあります。細長い日本列島のことゆえ、もうとつづくに紅葉が終わって、葉が散ってしまったところもあれば、まだ紅葉が始まらないところもあると思いますが、いずれにしても、落葉はものあわれを感じさせます。

でも、昔と違って、最近は落葉でたき火をしてあたりたり、その中で焼きイモを焼いて楽しむことは少なくなりました。ことに都市化した地域では、うっかりたき火をしたりすると、消防車が飛んで来てしまうことさえあります。さて、落葉散る11月は出稼ぎの季節。町出稼ぎ相談所の話しでは、今年はお稼ぎ者が昨年より少ないのではないかといいことでしたが、ともあれ、出稼ぎに行かれる方々にはくれぐれも、事故や健康に注意して働いていただきたいものです。

まわりの話題

Machino wadai

目玉は「食堂」、大勢の客が舌鼓

東中で3年に一度の大文化祭

10月19日、東由利中学校で3年に一度の「大文化祭」が行われました。廊下には学級壁新聞や写真が貼られ、各教室には技術作品の展示のほか、デコ市、指圧、ゲームコーナーなどが設けられ人気を呼んでいました。また、体育館では、弁論発表、ピアノ演奏、創作ダンスなどが行われたほか、演劇「父帰る」で、生徒の中から選ばれた名俳優たちがユーモアいっぱい熱演、会場から盛大な拍手が送られていました。

こうした盛況の中にも、今回の目玉となったのは昨年オープンの給食棟に開設した「食堂」で、食堂には途切れることなく客が詰めかけ、生徒たちの腕をふるったメニューに舌つづみを打っていました。



給食棟に開設された食堂

女子青年が七宝焼に悪戦苦闘

町連合青年会の「女子研修会」

町連合青年会では、10月19日大蔵館で七宝焼を内容とした「女子研修会」を行いました。七宝焼は大半が初めてのためかなり悪戦苦闘していましたが、成果が形として残る今回の研修会、女子に熱中してもらおうと男子が昼食を準備するなど、いつもとは一味違った会となりました。農繁期でもあり、参加者は少なかったものの、ぜひもう一度という声が上がると、参加者は芸術の秋をそれぞれに満喫していました。

町老連小松副会長に知事表彰

本町老人福祉に貢献



小松慶治郎さん

第24回老人福祉大会が10月7日秋田市の県民会館で行われ、席上、本町の小松慶治郎さん(高戸屋)が、老人福祉功績者として県知事から表彰されました。小松さんは、本町老人クラブ連合会の副会長として、長年会の育成に尽力され、本町老人福祉の向上に貢献されたことが認められたものです。

小野さんが県警本部長表彰

地区防犯活動に貢献



小野松雄さん

全国防犯運動第8回秋田県大会が10月2日秋田市の県児童会館で行われ、席上、本町防犯連絡所連絡員で、本町地区防犯指導隊副隊長の小野松雄さん(蔵新田)が、防犯功労者として県警本部長から表彰されました。小笠原さんには、本町警察署長表彰

また、同大会と別に、同連絡員の小笠原清一郎さん(祝沢)には本町警察署長から表彰状が贈られました。受表彰した2人は、いずれも、本町防犯連絡所連絡員として、地域の警察官と協力して防犯活動を推進しているもので、なかでも小野さんは本町地区防犯指導隊副隊長としても貢献されていることが認められたものです。



七宝焼の下地づくりをする青年会員

「やっぱり稲を束ねるのは苦手」

町内小学校で稲刈りの体験学習

町内の各小学校で、勤労体験学習の一環として設けている田んぼの稲刈りが、9月下旬から10月上旬にかけて行われました。なかでも、面積が10アと他校より大きい田んぼを作っている八塩小学校では、10月1日に4年生以上の76人が参加して行われ、児童たちが歓声をあげながら田んぼに突入、稲を刈ってはみたものの束ねるのに四苦八苦していました。しかし、田んぼの持ち主の遠藤幸男さん（館西）や、先生方の指導を受け無事終了。児童たちは収穫した米での「もちつき大会」（11月18日）を楽しみにしていました。



稲を束ねるのに四苦八苦する八塩小児童



大琴小児童による器楽合奏

「百舌鳥」、「由利小唄」を合唱

小松音楽兄弟偲び「音楽祭」

郷土の生んだ偉大な音楽家、故小松耕輔、三樹三、平五郎、清兄弟の遺徳を偲んで、「昭和61年度地区音楽祭」（町教育研究所主催）が10月15日東由利中学校体育館で行われました。

同音楽祭は、これまでは「小松音楽兄弟顕彰音楽会」として昭和57年から行われてきたもので、今年が5回目。

この日は、町内小学校5、6年生と中学生約400人が参加し、小松耕輔先生作曲の「百舌鳥」と、小松平五郎先生作曲の「由利小唄」を全員で合唱したほか、各学校ごとに、鼓笛演奏、器楽合奏、吹奏楽などを披露しました。

美代子さん(東中)が個人戦で優勝

郡市柔剣道練成大会

郡市柔剣道練成大会が10月12日日本荘市の市民体育館で行われ、女子個人の部で本町東由利中2年の佐藤美代子さんがみごと優勝を飾りました。



東由利中2年 佐藤美代子さん

部で主将をつとめており、優勝したことについて「主将のメンツがたつた」と喜んでいました。なお、団体戦では男子、女子

大琴小(女団)が準優勝

郡市小学校卓球大会

第13回郡市小学校卓球大会が10月4日日本荘市北中学校体育館で行われ、本町大琴小学校が女子団体戦で準優勝を獲得しました。

町長の喫茶室



町長
畠山亮二郎

お嬢さんお茶はいかがか

過疎の町東由利に初の喫茶店——こんな見出しの紹介ニュースが、この春朝日新聞に載り、わが町を写真入りで大きく報道していたことを思い出す。

——都会的センスのティールーム誕生は、今年の町の「重大ニュース入りすることは間違いないだろう——そんなふうに書かれ、また、店主のこぼれとして「採算がとれる」とも思わない：ポラントニア精神で：若者が町おこしの悟りを開いて欲しい。」との願いが伝えられていた。

町に新しい職場ができたことにより、いま、やっと若者の数が多くみられるようになった。そんな時に、若者の念願をかなえてくれたビックなニュースである。民間活力による喫茶店の誕生は、この町の若者へのすばらしいプレゼントである。町活性化の行政

「民間活力」について思うこと

施策と、民間活力が相俟ってでき上がった、相乗効果のあらわれでもあり、うれしい限りである。

この夏、「秋田をおこすシンポジウム86」が盛大に開催されたが、結論は、「百の評論より一の実践」——やる気おこしと、やる気ある人材の育成であった。町おこしは、行政施策と相俟って、町民のやる気おこしにあると考える。

新しい試みとして、今年はささやかな予算ではあったが「地域手づくり事業」と銘うって町民のやる気おこしの実践活動を奨励したところ、既に9団体から実践報告がもたらされたことはうれしい限りである。

自分たちの地域のことは自分たちでやろう、という意欲が十分うかがわれたことを喜びたい。

町のシンボル塔建立の主旨も、町のやる気おこしがねらいであった。

わが町は、やがて桐生産県内一を誇る町となろう。この桐を加工して特産品づくりをしようとの試みがいまはじまっている。

今年、全県共進会において和牛の優等賞2組を出す快挙により畜産の町の誉れを高くし、また、葉たばこ生産で時雨山地区が管内優勝を出すなど、一段と民間活力が光る年となったことを心から喜びたい。

みんなのひろば



あきら
明くん・下小路
22歳・一美さん二男

われら中年 がんばって ます!

小松正幸さん
高戸屋・52歳

「多角的に農業の協業化を」——提言

水田1・5畝、葉たばこ36アールを耕作する兼業農家の小松さん。先月下旬、稲の収穫作業を終え、葉たばこの選別作業に精を出していました。

小松さんは、農業の協業化の

ヤンキーレポート

30

横手工業高校を卒業後、神奈川県内の弱電企業に入社、町内にも同種の企業ができたことを知り、一昨年にUターンしてきた明くん。現在、町誘致企業秋田信英(株)で、機械のオペレーターとして活躍しています。

家族は…

祖父母、両親、兄、弟の7人です。

モットーとしていることは…

友人を裏切らない、また、裏切られないようにすることです。

横手工業高校を卒業後、神奈川県内の弱電企業に入社、町内にも同種の企業ができたことを知り、一昨年にUターンしてきた明くん。現在、町誘致企業秋田信英(株)で、機械のオペレーターとして活躍しています。

町への要望は…

私たちの仕事は3交替なこともあって食事などに不自由さがあります。本荘市にあるような24時間営業で、仕事のあとにくつろげる店がほしいです。



実践者で、昭和45年に設立された「双葉集落農場組合」では組合長を務めています。トラクター、田植機、コンバインなど、近代農業の主力となりしかも高価な機械はすべて組合で購入、6人の組合員が共同利用しています。また、小松さんの場合は、稲の乾燥も機械を自己所有しな

いで、近所の農家にすべて委託、「使用頻度や購入価格などから考えれば委託で十分」と、自信を持って語っていました。現在の稲作経営について、「生産者米価が下がるとも上がらない現状の中で稲作経営を続けていくとすれば、生産コストをもっと抑える必要がある。そのためには、機械への過大投資を避け、できる限り協業化を図るべきではないか」と語り、これからの農業経営について、「本町のように兼業でしか小規模農家の多いところでは、稲作とあわせ畑作や畜産など、多角的に協業化を進めていくべきではないだろうか」と、提言していました。

今いちばんほしいものは…

ガールフレンドです。めんくいではないけれど、かわいらしさを感じとれる人が好きです。

仕事は3交替のようですが、つらくはありませんか…

最初のころ夜勤(午後10時～午前6時)がとてつらかったけれど、いまは慣れてしまいました。それに、これがないと給料が減ってしまうので大変です。



庭石にしみこむ程に幾日も
雨降りつづき秋深みゆく
畠山 芳子(寺田)

沈みゆく太陽の位置まぎれなく
北に移りて秋風の吹く
佐藤 イデ(寺田)

吾子程の人等と情報交えつつ
日々の務めに年を忘るる
藤原富貴子(上通)

久々に母と歩みて手を曳けば
ぬくもりつたう風光る道
畠山 愛子(横小路)

東由利の文芸

(短歌)

私の赤ちゃん

佐藤有紀ちゃん(新町)
60・11・17生まれ
秀夫さんと妙子さんの長女



「こんにちは」わが家のアイドル「有紀」です。やんちゃで、とつてもきかんぼうですが、でもかわいい女の子なんです。犬が大好きで、近所で飼っている「ムク」とは、大のなかよしです。大きくなっても、やさしくかわいらしい女の子でいてほしいですね。

みんなのひろば



大塚京子さん
(泡の淵)

町の未来のために “人材”の育成を



9月の町議会の一般質問で、一議員から中核的農業後継者の先進地研修を望む提言が出されていたのを広報で見ました。

そして、最近の新聞に、山形県のある町で国内外の研修派遣制度を設け、研修者に町が3分の2の補助をするという記事が載っているのを見ました。この町では、国際化、情報化時代に対応できる視野の広い人材を育成し、町の活性化に役立てることを狙いとしているようです。

ますます複雑化する現代社会の中で、必要とされるのは人材の育成であり、一朝一夕では芽が出ないにしても、地道に人材の育成をしていくことに、東部の未来があるように思えます。



題・「自画像」



大日向昌幸くん
高瀬小・4年



遠藤由美子さん
高瀬小・4年

金婚しらしい



長谷山 長一さん・
ヨシエさん・
田代・結婚歴52年・
6970歳

長谷山長一さんは、知る人ぞ知る町でも数少ない「結婚座配人」の一人。これまで約150組のカップルの結婚を見とどけてきました。また、町民生委員として昭和59年まで12年間、地域の福祉向上に貢献しています。こうした役目を担ったのも、長谷山さんの人柄によるところが大きく、年輩の方々はいまでも相談に訪れています。一つ年下の妻ヨシエさんは、そんな長一さんの健康に気くばりしながら、陰の力となって長一さんを今日まで支えてきました。

かわいがってきた孫が今年結婚。ひ孫の顔を一日でも早くみたいーと、二人ともひ孫の誕生を首を長くして待っています。

公民館「図書」案内

- 四千万歩の男(蝦夷編) 上・下 (井上ひさし)
- 減反15年むらほ (秋田魁新報社)
- 波のかたみ・清盛の妻 (永井路子)
- 大黄河 (西田龍雄)
- さよなら学校 (井上好子)
- いのち上・下 (橋田壽賀子)
- 聞き書・高知の食事・聞き書・青森の食事・中国の歴史・戦国の兵法家 (手塚治虫)
- 生涯一捕手の目 (野村克也)
- 姥ときめき (田辺聖子)
- 心だより (澤地久枝)
- 道を拓く (朝日新聞社)
- 続・おばあさんの知恵袋 (桑井いね)
- 秋田 (伊藤永之介)
- 乱灯上・下 (松本清張)
- あおげば尊し・ほうき星 (小山内美江子)
- ロシアについて・地方の原形 (司馬遼太郎)
- 前方後墳の世紀 (嶋中鵬二)
- 英雄たちの時代・孔明と三国志 (手塚治虫)
- 世界一の歴史家 (手塚治虫)
- 少国民はどう作られたか (山中恒)

わが町 スムアツ



アキカラマツ (キンポウゲ科)

郷土の野草



20

信濃の国(今の長野県) 高遠(たかね)に昔から伝えられた野草で「タカトオグサ」ともいわれ、健胃、下痢止めの薬として卓効があるといわれる。原野、路傍などどこにもある多年草で、茎は1メートル以上にもなる。葉は互生して表面は緑色、裏は緑白色で先端がハギの葉を三裂したような円又はだ円形の小葉で、初秋の頃に淡黄白色の小さい花を茎頭に多数つける。和名は「秋唐松」アキカラマツで秋に開花することからこの名がある。中国、朝鮮などにも広く分布しやはり薬草として用いられている。胃の薬としては全草を乾燥させ粉末にして一回量0.5gを水で服用する。(小松忠正)



28

毎月「広報ひがしゆり」を送っていたくださりありがとうございます。少し前に連載されていた「東由利の今昔物語」では、一枚の写真から忘れていたころの事柄が鮮明によりがえり、我々がふる里東由利の想い出として語り、描いている事は皆「昔」となっているのには思わず苦笑してしまいました。現在連載中の「われら中年」には、同級生や



遠藤鋼一さん (横渡出身・47歳)

1、2年先輩、後輩が登場し、文字通りガンバッテいる様子が紹介され、こちらまで元気が出るような気がします。また、「郷土の野草」は、いつかゆつくりカラー写真で見たいように思います。先日、東北地方に初雪というニュースが流されてきました。例年より早いという解説付でしたが、もうそんな季節なのかと、暑い夏のひとときをふる里で過ごした数日がついこの間

のように思われます。この時期は、季節就労に出かける話など交わされているころでしょうか。東京地区で毎年行われていた出稼ぎ者激励懇談会・ふるさと集会も、明年からは中止されるとの事で、我々在京者にとつては少し淋しい気もしますが、季節就労者の数の減少という事も多少起因しているのでは、まづは喜ばしい事と思います。年々姿を変えるふる里は、時としてどこか違うヨソ行きの顔を感じたりもしますが、知人、旧友と一声交わせばそこはなつかしいふる里東由利です。益々のご発展を期待しております。(お住い▽〒189東京都東村山市諏訪町3-10-23)

助手席も減点対象です



11月1日からシートベルトの着用が一般道でも義務化されました。

お元気でか 保健婦です

26

薄れていませんか？母と子の絆

いよいよ山々も色づき、晩秋の候を迎えました。これから現場業務も増える中でホッと安らぐひとときは、何といても乳児健康相談などで赤ちゃんの顔と出会うときです。けがれない無垢な瞳は、疲れている大人の心をいやしてくるかのようです。こんな可愛いらしい赤ちゃんをとり巻く環境もこの頃ではめっきり変化し、文化生活は進み、一方では母親のほとんどが家から離れて働くようになり、以前より母と子の絆が希薄になっています。私だけではどうでしょうか？人間が一生の中で最も急成長を成すのが乳児期とされており、3歳までには脳細胞が8割達成するというのですから、昔から「三つ子の魂百までも」と言われてきたことわざは現在でも生き続けているのです。母乳育児を貫き通す事すらもままならない昨今とあれば、毎日の限られた時間での母と子の有り方はどうあればよいのか、お母さんを中心に、家族皆で問い直してみる事もあって良いのではないのでしょうか？ちなみに来る11月9日は朋楽荘で移動杉の子広場(お母さんの一日教室)が開かれます。個別相談も午後から受けられるしくみとなっていてますから、気軽に参加してみたいかがでしょうか？(保健婦・小松)

さわやか君

西村 宗



わかれ仲間

東由利町 書道クラブ

代表・小松フヨさん (上通)

「書道クラブ」は、公民館が開いていた「書道教室」の閉講とともに、受講者の有志で結成、かれこれ10年になろうとしています。会員は現在10名ほどで、「好きだから」、「字がヘタで」、「商売に生かすため」など、学習目的は人それぞれで違います。小松忠正先生(下通)の指導で、先生の家をお貸りして第2と第4月曜日の月2回学習に励んでいます。目下、町生活文化祭出品にむけて学習中です。私たちの学習の成果を文化祭でぜひご覧ください。

わが町スーパード

「町の銘産品」 「たずねある記」

⑧

銘柄牛「由利牛」

「由利牛」とは、脂肪交雑(霜ふり肉)状況、肉色、食味など高品質の牛肉が、安定的に定時定量市場に上場できるとして、関係者の熱意と努力により昭和58年、東京立川市場において銘柄確立がなされた肥育牛のことです。



「由利牛」の資質を競う町共進会

牛「由利牛」の里づくりが進められています。

今月の催し

- 1~2日・町生活文化祭
- 2~3日・町農協祭
- 3日・町功労者表彰式(有鄰館)
- 4日・乳がん検診(八塩小)
- 5日・新入学児童健康診断(有鄰館)・中学校寄宿舎入舎式
- 6日・乳がん検診(商工会館)
- 9日・移動スギの子広場(朋楽荘)
- 11日・乳がん検診(大蔵館)
- 13日・乳がん検診(高瀬館) 不用犬捕獲日
- 19日・健康大学及び愛育班員研修会(有鄰館)
- 26日・1歳6か月児検診(有鄰館)
- 26日・農業委員会(役場)
- 27日・機能訓練教室(東光苑)

乳がん検診

10月30日から乳がん検診が行われています。申し込みをしない方でも当日受け付けます。多数受診してください。

受付時間	9時~9時30分
受診料	500円
期日と場所	次のとおり
11月4日	八塩小学校
11月6日	商工会館
11月11日	大蔵館
11月13日	高瀬館

由利地域 特産物フェア

「秋の文化祭」

期日 11月22日(土)、23日(日)
会場 町特別養護老人ホーム東光苑
内容 (展示の部) 入所

情報コーナー

者の作品、介護用品、東光苑PR写真ほか
(即売の部) 入所者の作品
(その他の部) 演芸大会(22日)、映写会(23日)、老人介護についての相談、技術指導、喫茶、食堂、その他

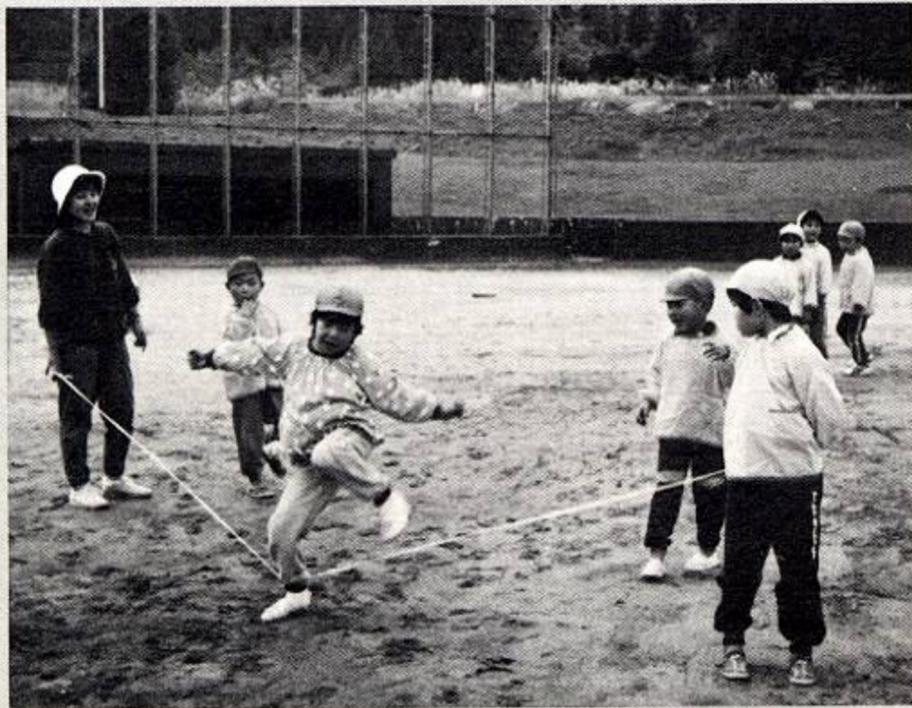
62年県民手帳 予約受付中 300円

展示販売内容 ササニシキの無償配付、由利牛の試食、由利地域特産品の即売ほか。

Love 東由利'61

シリーズ・町内各団体長に聞く テーマ〈私の考える町づくり〉

No. 8 東由利町建設技能組合長 阿部 悟さん



「ゴムとび」

撮影・高橋智賀子さん(下小路)

10月9日に行われた、みどり保育園の遠足でのひとコマです。とても寒かったので、なわとびやゴムとびをして遊びました。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

全国的な新設住宅の低落でわが町も木材需要が長期にわたり低迷、町の木材産業は深刻な不況に陥っている。今後の新たな木材供給構造に対応していくためには流通の情勢と地場需要をより重視した木材の流通体制づくりを進めることが重要であると思う。そのためには当町の木材関連業者が一致団結して地場需要の積極的開拓をすすめるければならないことと、町内産材の良さを見直し、地域に根ざしたきめ細かな住宅政策が必要と思われる。また、この不況で建築関連業者の若者も減少し、深刻な傾向となっている。これには、町民また業者が一丸となって創意工夫を重ね真剣な努力を行うことが何よりも大切であり、行政の適切な支援を得ながら今後大いに努力していきたいと思う。

私もひとニド...

10月24日、有隣館で乳児健康相談が行われました。お母さんたちに、どんな子に育てたいか聞いてみました。



3人目の子です。とても元気のいい女の子です。末っ子でも甘やかさないよう育てたいと思っています。
(横山秋子さん・智者鶴)



2人目に待望の女の子が誕生しました。女の子らしい、やさしい人間に育てたいと思っています。
(小野くに子さん・下小屋)



1人目の子は、かわいがり過ぎて少しわがままに育っています。2人目のこの子は、ちよっぴりきびしく育てたいと思います。
(遠藤育子さん・蔵新田)

戸籍の窓口

(9/21~10/20届出・敬称略)

うぶ声



高橋	鈴木	阿部	伊東	小野	畑山
舞子	翔子	孝和	祐平	唯菜	絵菜
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
勉	和夫	和弘	幸寛	智次	一廣
・三女	・四女	・長男	・長男	・次女	・次女
蔵新田	沼	蔵	蔵新田	蔵新田	館合新田

結婚



佐藤	佐藤	佐々木	長谷山	菅原	畠山	宮館	千葉	播磨真由美	小松
繁子	耕治	雅子	博昭	栄子	浩	牧子	源治	源美	与悦
横小路	山形	大	田	羽後	智	秋	桂	雄物	新
	県	琴	代	町	者	田	台	川	町
					鶴	市			

おくやみ



高橋	佐々木	伊藤
澄雄	トミヨ	泰子
(54)	(86)	
チヨノ	進	下小路
・夫	・母	十文字町
土場沢	大琴	

町の統計 10月 (9/1~9/30)

●人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,021人 (1)	●出生 5人 (44)
・女 3,108人 (4)	●死亡 2人 (36)
・計 6,129人 (5)	●結婚 5組 (22)
●世帯数 1,460世帯 (△1)	●離婚 0組 (1)
●ゴミ処理量..... 33 t (325)	
●火災発生件数..... 0 件 (6)	
●救急車出動回数..... 13 件 (74)	
●交通事故(人身)..... 1 件 (13)	
●交通死亡事故「0」継続日数..... 2,298日	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 2,295人 (14,293)	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 787人 (5,721)	

町民の声を町政に!

町長面会日今月は20日

※前回までの火災発生件数(合計)に誤りがありましたので今回修正しました。